



## 6 教育内容

公衆衛生学分野(疫学、生物統計学、社会行動科学、環境保健学、保健医療管理学)に加え、最新のテクノロジーやイノベーション、保健医療政策等に関する講義・演習を行う。

【参考：授業科目全体像】

### 授業科目全体像

- 本学、本研究科の理念を修得する「共通科目」
- 公衆衛生学位（MPH）取得の基礎科目である「公衆衛生学専門科目」
- ヘルスイノベーション研究科の大きなコンセプトの一つである「次世代を牽引するイノベーション人材の育成」を目的とし、個人の興味関心に合わせた履修が可能な「応用科目」
- 国内外で専門分野を牽引できる、ビジネスマインド、パブリックマインドを養い、実践スキルをもった人材の育成を目的としたフィールド実習等の「実習・特別研究科目」

共通科目	未病特論 ヒューマンサービス特論 ヘルスイノベーション概論 データサイエンス ヘルスイノベーションにおけるRRI・I				
公衆衛生学専門科目	<疫学> 疫学概論 疫学研究 疫学演習 臨床試験	<生物統計学> 生物統計学基礎 生物統計学演習 生物統計学応用 データ統計解析演習	<社会行動科学> 健康行動科学 ヘルスコミュニケーション フィールド調査・研究方法 社会健康学・社会疫学	<環境保健学> 環境保健学 産業保健学 産業保健学演習	<保健医療管理学> 健康・医療政策 国際保健政策 医療経済学 ヘルスケア管理学 財政と社会保障 健康医療と法政策
応用科目	ヘルステクノロジー I, II    ヘルスイノベーションにおけるRRI(責任ある研究・イノベーション) II    再生医療特論 データサイエンス演習    健康危機管理論    インジュリー・コントロール 未病社会のライフデザイン    ヒューマン・ニュートリション    イノベーションのためのファイナンス・アカウンティング マーケティング・ストラテジー    医療技術評価    医薬品・医療機器開発				
実習・特別研究科目	プレゼンテーション    アカデミックライティング    組織マネジメント アントレプレナーシップ I、II    フィールド実習 1 A～2 B    課題研究または修士論文				

## 7 開講時間

主に企業や行政に在職する社会人など幅広い領域からの入学を想定し、授業は主に平日夜間や土曜日昼間に開講する。

## 8 履修言語

修了生のグローバルな領域での活躍を想定し、英語だけでも修了できるよう、必修科目及び選択科目の一部について英語による教育を設定する。